

活動方針

行方地域農業改良普及センターは、「地域の強みを活かした行方農業」の実現を目指し、5つの方針のもとに普及活動を展開します。



(カンショ 目揃い会)



(水稲 栽培講習会)



(GAP 研修会)

1. 収益力の高い
野菜作経営体の育成
2. 収益力の高い
普通作経営体の育成
3. 安全と環境に配慮した
生産対策の推進



(農業学園の開催)



(直売所 伊太郎)

4. 行方地域農業を支える
強い経営体づくり
5. 地域資源を活用した
地域の活性化

令和2年度（2020年度）の取り組み課題

1. 収益力の高い野菜作経営体の育成
 - ・新しい価値を創造し持続的発展を目指すカンショ経営体の育成
 - ・安全・安心，安定生産を目指したイチゴ経営体の育成
 - ・市場の需要に応える多様な周年葉物経営体の育成
 - ・地域特産野菜経営体の育成
2. 収益力の高い普通作経営体の育成
 - ・省力低コスト栽培技術導入による大規模稲作経営体の育成
 - ・早米産地の特性を活かした高品質安定栽培技術の確立
 - ・地域の特色を生かしたオリジナル米産地の育成と販路拡大
 - ・実需提案による新品種の安定生産技術の確立
3. 安全と環境に配慮した生産対策の推進
 - ・環境にやさしいレンコン経営体の育成
 - ・GAPを活用した持続可能な経営体の育成
4. 行方地域農業を支える強い経営体づくり
 - ・地域農業を支える多様な担い手の確保・育成
 - ・地域を支える中核的な経営体の育成
5. 地域資源を活用した地域の活性化
 - ・直売所や観光資源活用による地域活性化
 - ・地域の特徴を生かした農商工連携の推進